

## ETC について

ラリー北海道のオーガナイザーは、海外参加者に ETC 車載器と ETC カードを貸し出します。公式車両検査前に各参加者は各自で競技車に取り付けて下さい。日本の参加者は大会前に ETC 車載器の取り付け、及び ETC カードの用意をご自身で行ってください。

### ● ETC とは

ETC=Electronic Toll Collection System は、クルマに取り付けた車載器と料金所のアンテナが無線で交信することで、クルマは料金所をスムーズ(通過時の速度は約 20km/h 以下を厳守)に通過することができます。支払いのためのタイムロスがなく、料金所で現金が必要ありません。通行料金はクレジットカードの機能を利用した ETC カードにチャージされます。

また、料金支払いのためのストップ & ゴーを繰り返すことがなくなりますので、料金所付近の騒音や排気ガスが軽減され、周辺環境の改善にも貢献します。またアイドリング等による排気ガスの軽減にともない、地球温暖化の抑止にも効果を発揮します。

ETC のより詳しい説明はこちらのウェブサイトをご覧ください:<http://www.go-etc.jp/>



### ● 貸し出しの流れ

1. ラリー北海道事務局で、ETC 車載器と ETC カードに参加者情報をインプットします。(セットアップ)
2. 参加確認時にセットアップされた ETC セットを貸出します。その際に、受領証にサインをお願いします。

#### 貸出しセット

- ・ETC 車載器本体/1 台
- ・ETC アンテナ/1 台
- ・ETC カード/1 枚

#### 貸出し料金

- ・13,000 円
- ・高速道路の通行料金込
- ・使用は競技期間 2 日間限定(10 月 1 日 - 2 日)

5. 公式車両検査時に電波の受発信テストを実施します。
6. 10 月 2 日競技終了時~3 日 HQ 閉鎖時までには事務局へ必ず返却のこと



## ラリー北海道大会組織委員会

## Rally Hokkaido Organising Committee

〒003-0022

北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9

ウェブサイト: [www.rally-hokkaido.com](http://www.rally-hokkaido.com)

Eメール: [info@rally-hokkaido.com](mailto:info@rally-hokkaido.com)

Tel: +81-(0)11- 864-1101 Fax: +81-(0)11-864-1182

この書類は案内書として作成されており、規則的な効力はありません。特別規則書、公式通知にて規定された場合はそちらに従ってください。規則については、FIA 国際モータースポーツ競技規則 (FIA International Sporting Code)、FIA 地域ラリー選手権競技規定 (FIA Resional Rally Championship Regulations)、JAF 国内競技規則 (JAF National Sporting Regulations)、ラリー北海道の特別規則書および公式通知に従ってください。

## 警 告

選手、チーム、メディア、及び関係者全ては FIA 地域ラリー選手権規定 15.4 条に従って日本の交通法規を遵守しなければなりません。法令遵守の原則に則り、大会主催者は以下について警告します。

- 「FIA 地域ラリー選手権規定 15.4 条」に則り、交通違反者に対しては厳格に罰則を適用します。
- 違反者の来年以降のエントリーを受け付けない場合があります。
- 大会期間中、交通違反が発生した場合、大会の継続や今後の開催に重大な影響を与える可能性があります。

以上

海外からお越しになる方へ

日本には国際基準とは異なる交通規則が存在します。しかしそれらは厳密に遵守されなくてはなりません。特に下記には注意してください。

全体的に道路標識は国際基準と合致していますが、「止まれ」のサインだけは異なります。形状は逆三角形です（海外の「Give Way」標識に似ています）。

すべての車両は踏み切りで必ず停止しなくてはならず、通過する前に電車が来ていないことを確認しなければなりません。

特に標識で規制されていない場合は、町の中心部は時速 40km 以内で、その他の地域は時速 60km 以内で走行しなくてはなりません。高速道路の最高速度は、状況にもよりますが、時速 70km です。

また、海外からお越しになる方は、一般道を運転するのに日本で有効な免許証、および国際免許証について理解していません。国際免許証は「1949 年ジュネーブ交通条約」下で発行されたものでなければならず、国際免許証の表紙に「1949 年ジュネーブ交通条約」と明記されています。ドイツ、フランス、スイス、イタリア、ベルギー、台湾の免許証所持者は JAF で免許証の翻訳が必要になります。その翻訳したものと免許証を同時に所持することでジュネーブ条約下で発行された国際免許証と同じ効力を持ちます。以上の免許証以外を所持している方は「外免切替」が必要になります。

外面切替の詳細に関しては、以下のウェブサイトをご覧ください：

<http://www.jaf.or.jp/e/switch.htm>

詳細については第 8 章をご覧ください。

## 目次

<b>1 はじめに / 歓迎の挨拶</b>	<b>5</b>	<b>12 レッキ</b>	<b>20</b>
1.1 帯広 米沢市長よりご挨拶	5	12.1 レッキ受付	20
1.2 大会概要	6	12.2 レッキに関する規則及び指示	20
1.3 十勝地方について	7	12.3 使用推奨道路	20
<b>2 オーガナイザーの連絡先</b>	<b>8</b>	<b>13 公式車検 / シーリング及びマーキング</b>	<b>21</b>
2.1 大会事務局	8	13.1 日時及び場所	21
2.2 主要競技役員	8	13.2 公式車検前の準備	21
2.3 ラリーHQ	10	13.3 公式車検場へのルート	21
2.4 メディア事務局	10	13.4 再車検	22
2.5 メディアセンター	10	<b>14 シェイクダウン</b>	<b>22</b>
<b>3 プログラム</b>	<b>11</b>	<b>15 セレモニースタート及びラリーショー</b>	<b>22</b>
3.1 大会開始前のスケジュール	11	15.1 日時及び場所	22
3.2 大会期間中のスケジュール	11	15.2 プログラム、進行の手順	22
<b>4 エントリー</b>	<b>13</b>	<b>16 フィニッシュ</b>	<b>24</b>
4.1 FIA タイトル	13	16.1 日時及び場所	24
4.2 エントリーパッケージ	13	16.2 プログラム、進行の手順	24
4.3 パス及び書類の追加注文	13	<b>17 PR イベント及び入場制限</b>	<b>27</b>
<b>5 サービスパーク及びリモートサービス</b>	<b>14</b>	<b>18 メディア</b>	<b>28</b>
5.1 サービスパークについて	14	18.1 大会前の連絡先	28
5.2 サービスパーク内の施設	15	18.2 メディア登録の手順と締切	28
5.3 サービスパークに関するカイドライン	15	18.3 大会中の連絡先	28
<b>6 無線</b>	<b>15</b>	18.4 メディア受付	28
<b>7 燃料 / タイヤ</b>	<b>15</b>	18.5 メディアセンター	29
<b>8 車両と部品の日本への持ち込み</b>	<b>16</b>	18.6 メディアコンファレンス	29
8.1 日本の法律 / 通関手続き	16	18.7 各メディア報道	29
8.2 車両に関わる規制	17	<b>19 クレデンシャル及び車両通行証</b>	<b>30</b>
8.3 日本国内を運転する際の条件	17	19.1 クレデンシャル	30
8.4 交通法規の違い	17	19.2 車両通行証	31
<b>9 ヘリコプター</b>	<b>18</b>	<b>20 医療及び安全サービス</b>	<b>32</b>
9.1 登録申請手続き	18	<b>21 総合案内</b>	<b>33</b>
9.2 国内ヘリコプター会社	18	21.1 概要	33
<b>10 ホスピタリティー</b>	<b>18</b>	21.2 車両レンタル - 乗用車、トラック	34
<b>11 ホテル / 宿泊施設の予約について</b>	<b>19</b>	21.3 航空会社	34
		21.4 コピーサービス	35

21.5 電話	35
21.6 警備会社	36
21.7 タクシー	36
21.8 ビジネスディクトリー	36
21.9 レストランガイド	37
<b>付則</b>	<b>39</b>
<b>付則 A アイテナリー</b>	<b>40</b>
付則 A.1 アイテナリー	40
付則 A.2 過去のラリー北海道との比較	42
付則 A.3 レッキスケジュール	43
<b>付則 B マップ</b>	<b>45</b>
付則 B.1 ルートマップ	45
付則 B.2 帯広市マップ	46
<b>付則 C ロードブック</b>	<b>48</b>
付則 C.1 とかち帯広空港 ~ JR 帯広駅	48
付則 C.2 HQ ~ 北愛国サービスパーク	50
付則 C.3 HQ ~ 車検場	52
付則 C.4 サービスパーク ~ 車検場	54
付則 C.5 リモートリフュールとサービス	57
<b>付則 D 図面とレイアウト</b>	<b>61</b>
付則 D.1 北愛国サービスパーク	61
付則 D.2 陸別リモートサービス	62
付則 D.3 車検場	63
付則 D.4 HQ とメディアセンター	64
付則 D.5 HQ&メディアセンター駐車場	65
付則 D.6 スタート及びフィニッシュ会場	66
<b>付則 E Forms</b>	<b>67</b>
レッキ車両登録申込書	67
サービス員及び車両登録申込書	68

## 1. はじめに 歓迎のご挨拶 / 大会概要

### 1.1 帯広市長より歓迎のご挨拶

「ラリー北海道2011」が、本年も北愛国交流広場でのセレモニアルスタートを皮切りに、9月30日から10月2日まで、十勝・帯広で開催されますことは地域にとって大変喜ばしいことであり、選手や関係者さらには観客の皆様を心から歓迎いたします。

FIAアジアパシフィックラリー選手権の十勝・帯広での開催も、2002年の日本初開催から数えて、今年で10回目の節目を迎えました。この間、地域におけるモータースポーツへの関心の高まりはもとより、日本のみならず世界各地から来られた方々との素晴らしい出会いと交流をきっかけとしたホスピタリティ精神の高まりなど、今では、地域の発展に大きく寄与する、国際イベントの一つとなりました。



本大会の開催にあたり、サービスパークとなります北愛国交流広場では、「フードバレーとかち」の食を一堂に集めた「とかち・北海道満腹フェスティバル」が初めて開催されるなど、地域を挙げて、日本を代表するラリーの祭典をさらに盛り上げていこうと、ラリーファンはもちろん、親子で楽しめるイベントを開催いたしますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。また、十勝・帯広が有する雄大な大地から生れる秋の味覚を存分に満喫していただき、皆様の良き思い出の地となりますことを願っております。

本大会が安全に運営され、これまで以上にラリーの醍醐味を味わえる盛大な大会となりますとともに、参加者各位のご健闘を心から祈念申し上げます。

帯広市長  
米沢 則寿

## 1.2 大会概要(ラリー北海道概史)

日本で FIA アジア・パシフィックラリー選手権が開催されるのは、初開催の 2002 年から今年で 10 回目になります。10 周年を記念しまして、帯広駅前にあるモニュメントに歴代優勝ドライバー&コドライバーの名前が入ったプレート掲げます。2003 年には世界ラリー選手権 (WRC) 候補イベントとして、また 2004 年にはラリー・ジャパンと併催して開催されました。2005 年よりラリー・ジャパンから再び独立してラリー北海道の名称となり、JAF 全日本ラリー選手権を併催する国内 2 つ目の国際ラリー大会として開催を続けています。

今年は初めて 9 月の開催となります。北海道十勝地方の 9 月下旬は初秋の気候です。昨年の 5 月下旬に比べると気温はほぼ同じですが、平均の降水量は若干多くなります。また、日照時間は午前 5 時半の日の出からおよそ 12 時間あります。

アイテナリーは、十勝地方のおなじみの大地を網羅しています。今年はギャラリーステージが増え、RIKUBETSU、OBIHIRO、HONBETSU、OTOFUKE、ASHORO LONG、PAWSE KAMUY が盛り込まれています。

ラリーHQ 及びメディアセンターは新たに、帯広市の明治北海道十勝オーバルに隣接した管理棟設置します。サービスパークは今年も世界ラリー選手権 (WRC) ラリー・ジャパンで使用されていた北愛国交流広場に設定します。また、昨年同様、Leg1 で使用する RIKUBETSU ではリモートサービスを行います。

この大会歴代勝者は以下の通りです：

2010 Winner	
<b>D</b> river	<b>Toshihiro ARAI (J)</b>
<b>C</b> o-driver	<b>Daniel BARRITT (GB)</b>
<b>E</b> ntrant	<b>Subaru Team Arai (J)</b>
<b>V</b> ehicle	<b>Subaru Impreza WRX STi</b>



国内初開催の地 Rally Hokkaido 歴代優勝者	
International Rally in HOKKAIDO	2001 Masashi ISHIDA / Sayuri ISHIDA
Asia Pacific Rally Championship	2002 Possum BOURNE / Mark STACEY
	2003 Toshihiro ARAI / Tony SIRCOMBE
	2004 Karamjit SINGH / Allen OH
	2005 Katsu TAGUCHI / Mark STACEY
	2006 Toshihiro ARAI / Tony SIRCOMBE
	2007 Cody CROCKER / Ben ATKINSON
	2008 Toshihiro ARAI / Glenn MACNEALL
	2009 Cody CROCKER / Ben ATKINSON
	2010 Toshihiro ARAI / Daniel BARRITT

Year	Driver	Co-driver	Entrant	Vehicle	Gp/Cl
2009	Cody CROCKER (AUS)	Ben ATKINSON (AUS)	Motor Image Rally Team (SGP)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2008	Toshihiro ARAI (J)	Glenn MACNEALL (NZ)	Subaru Team Arai (J)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2007	Cody CROCKER (AUS)	Ben ATKINSON (AUS)	Motor Image Rally Team (SGP)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2006	Toshihiro ARAI (J)	Tony SIRCOMBE (NZ)	Subaru Rally Team Japan (J)	Subaru Impreza WRX STi	N4
2005	Katsu TAGUCHI (J)	Mark STACEY (AUS)	MRF Tyres (IND)	Mitsubishi Lancer Evo VIII	N4
2004	Karamjit SINGH (MAL)	Allen OH (MAL)	Team Proton Pert Malaysia (MAL)	Proton PERT	N4
2003	Toshihiro ARAI (J)	Tony SIRCOMBE (NZ)	Subaru Production Rally Team (J)	Subaru Impreza	N4
2002	Possum BOURNE (NZ)	Mark STACEY (AUS)	Subaru Australia (AUS)	Subaru Impreza	A8
2001	Masashi ISHIDA (J)	Sayuri ISHIDA (J)	Ishida M. (J)	Mitsubishi Lancer Evo VII	N4

### 1.3 十勝地方について

北海道は日本列島の最北に位置し、人口は約 560 万人です。人口密度は 67 人/km<sup>2</sup> であり、全国平均の 342 人/km<sup>2</sup> や東京都の 5629 人/km<sup>2</sup> と比べて、あまり人口が密な地域ではありません。また、多くの森林、山々、農業地帯が広がる豊かな地域です。

北海道は、朝鮮半島の北方、ローマや英国南部とほぼ同緯度に位置しています。しかし、南太平洋海流の影響を受けるため、冬には長期にわたり寒さが厳しくなります。日本は夏に台風の影響を多く受けませんが、北海道はもっともその影響を受けることが少ない地域です。

十勝の田園風景は、アメリカ合衆国北部の州に似通ったところがあり、また、ラリー北海道のスペシャルステージをウェールズのステージに例える人々もいます。土地は比較的起伏が少なく、多くは農業に使用されています。山脈が南北に走り、北海道を東と西に分けています。北海道の中央部から西にも山脈があり、これら二つの山脈により、十勝地方の天候は比較的安定しています。ラリーで使用するコースの多くは十勝平野にあり、そのうちの何本かは山脈の麓にあります。山地ではありません。

北海道は、比較的新しい地域で、約 200 年前に本州から渡ってきた人により開拓されました。開拓以前は、この地区にはシベリアからカムチャッカ半島を下って来たアイヌと呼ばれる先住民のみが居住していました。その

影響で北海道の多くの地名の語源はアイヌ語であり、ラリー北海道のステージ名の一部はアイヌ語を基に決定されました。

サービスパークが設置される帯広市は人口約 17 万人の都市です。帯広市は十勝地方の商業中心都市であり、町並みは近代的で、ホテルやレストランも数多くあります。道路は整備され、日本語・英語で書かれた標識がついています。中心地点からの方角と距離によって道路に名称がつけられており、例えば人気のあるレストラン「十勝ビール」の住所は、西 1 条南 9 丁目 6 となっています。

十勝の人々はモータースポーツが大好きです。この地域では 2001 年から国際ラリーが開催され、2004 年から 2007 年まで 4 年間、WRC が開催されました。そのため地元の人々は日本で最もラリーを理解し、支援、協力する人々でもあります。

帯広市の地図は付則 B でご覧ください。



## 2. オーガナイザーの連絡先






### 2.1 大会事務局、Eメール&ウェブサイト

ラリー北海道大会事務局  
〒003-0022  
北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9 邦明ビル  
プランニング.フォー内

Tel: 011-864-1101  
Fax: 011-864-1182  
Eメール: info@rally-hokkaido.com  
ウェブサイト: www.rally-hokkaido.com

### 2.2 主要競技役員

#### 審査委員会

	Mr. Steven Kennedy		Mr. S N Nanthan
	FIA 審査委員長		FIA 審査委員
	080-2863-3543		080-2863-3544
	木全 巖		
	ASN(JAF 派遣) 審査委員		
	I.kimata@shore.ocn.ne.jp 090-3505-8939		

#### FIA オブザーバー及びデリゲート

	Mr. Willard MARTIN		Mr Julian Leach
	FIA オブザーバー		FIA テクニカルデリゲート
	080-2863-3545		080-2863-3546

#### 主要役員

	田畑 邦博		槇田 龍史
	大会組織委員会委員長		競技長
	tabata-p@rally-hokkaido.com		makita@rally-hokkaido.com
	011-864-1101		090-3117-4789
	言語：日本語		言語：日本語
	Mr. Dmitry (Dima) KRIVTSOV		永井 真
	副競技長		競技長補佐(リザルト)
	dima@rally-hokkaido.com		nagai@rally-hokkaido.com
	090-2077-6302		090-3119-8487
	言語：ロシア語、英語、日本語		言語：日本語、英語

	中田 省吾 競技長補佐(コース)  011-864-1101 言語：日本語		大橋 登美雄 事務局長 ohashi@planning-for.co.jp 090-3117-3671 言語：日本語
	野田 健 医師団長  090-8275-9705 言語：日本語		米澤 章 救急委員長 yonezawa@rally-hokkaido.com 090-3110-0896 言語：日本語
	Mr Peter MACNEALL コンペティターリレーション役員(CRO) info@rally-hokkaido.com (Attn Peter) 080-2863-3547 言語：英語		竹道 雄康 コンペティターリレーション役員(CRO) f-takemichi@jcom.home.ne.jp 090-3770-0682 言語：日本語、英語
	天野 克彦 メディアオフィサー media@rally-hokkaido.com  言語：日本語、英語		加藤 和由 国内メディアオフィサー media@rally-hokkaido.com 090-3390-7650 <sup>L</sup> 言語：日本語
	石川 和男 技術委員長 cswxt639@yahoo.co.jp 090-3111-9306 言語：日本語		山田 堅一 リグループコーディネーター info@rally-hokkaido.com 090-3116-0216 言語：日本語
	酒井 紀之 サービスパークコーディネーター  090-3018-7927 言語：日本語		高嶋 伸后 イベントセクレタリー takashima@planning-for.co.jp 090-1340-9989 言語：日本語、英語
	新井野 美恵子 イベントアカウンタント niino@planning-for.co.jp 011-864-1101 言語：日本語、英語		

## 2.3 ラリーHQ の連絡先及び北愛国サービスパーク、陸別リモートサービス

ラリーHQ  
〒080-0856  
北海道帯広市南町南7線56番地7  
明治北海道十勝オーバル管理棟内  
Tel:0155-67-6240 Fax: 0155-47-2727



ラリーHQ とメディアセンターは新たに帯広の森スケート場（十勝オーバル）の管理棟内に設置されます。2009年に完成しました十勝オーバルに隣接した形で、昨年のスケートワールドカップにおいてはメディアセンターとして使用されました。メインサービスパークは愛国町の北愛国交流広場に、リモートサービスエリアは陸別町の陸別サーキットに隣接されます。北愛国サービスパーク、陸別リモートサービス及びHQの位置については付則Bの地図をご参照ください。

### ラリーHQ 及び競技事務局の開設時間

9月28日	水曜日	09時00分～19時00分
9月29日	木曜日	07時00分～19時00分
9月30日	金曜日	06時00分～22時00分
10月1日	土曜日	05時30分～22時30分
10月2日	日曜日	04時30分～21時00分
10月3日	月曜日	09時00分～12時00分

## 2.4 メディア事務局、Eメール&ウェブサイト

メディアオフィサー: 天野 克彦  
国内メディアオフィサー: 加藤 和由

ラリー北海道大会事務局 メディア  
〒003-0022  
北海道札幌市白石区南郷通19丁目南4-9 邦明ビル  
プランニング・フォー内  
メディアに関する詳細につきましては、セクション18をご参照ください。

Tel: 011-864-1101  
Fax: 011-864-1182  
Eメール: [media@rally-hokkaido.com](mailto:media@rally-hokkaido.com)  
ウェブサイト: [www.rally-hokkaido.com](http://www.rally-hokkaido.com)

## 2.5 メディアセンターの連絡先

ラリーHQ  
〒080-0856  
北海道帯広市南町南7線56番地7  
明治北海道十勝オーバル管理棟内  
Tel:0155-67-6201 Fax: 0155-67-6202



## 3. プログラム



### 3.1 イベント前

9月9日	金曜日		
10時00分		ラリーガイド2の発行	www.rally-hokkaido.com
18時00分		エントリー締切	大会事務局
18時00分		コ・ドライバーの詳細の登録締切	大会事務局
18時00分		備品およびパスの追加注文締切	大会事務局
18時00分		ヘリコプター登録締切	大会事務局
9月15日	木曜日		
18時00分		ポンプ燃料発注締切日	大会事務局
18時00分		メディア登録申請締切	大会事務局
9月22日	木曜日		
10時00分		シードエントリーリストの発行	www.rally-hokkaido.com
18時00分		サービスパークレイアウト及びサービススペースの公示	www.rally-hokkaido.com
9月25日	日曜日		
10時00分		ロードブックおよびルートマップの発行	大会事務局

### 3.2 イベント中

9月26日	月曜日		
09時00分		各チームへのサービスパークオープン及びコンテナ搬入	北愛国サービスパーク
9月28日	水曜日		
09時00分		ラリーHQ 開設	十勝オーバル管理棟
09時00分～19時00分		ラリーHQ 開設時間	ラリーHQ
09時00分～		公式掲示板	ラリーHQ 入口横
13時00分～19時00分		参加確認及びサービス受付、レッキ受付	ラリーHQ
09時00分		車検スケジュールの公示	公式掲示板
13時00分～19時00分		メディアセンター開設時間	HQ 横、メディアセンター
13時00分		メディア受付開始	メディアセンター入口
9月29日	木曜日		
07時00分～19時00分		ラリーHQ 開設時間	ラリーHQ
07時00分～19時00分		メディアセンター開設時間	メディアセンター
10時00分～18時00分		レッキ	レッキスケジュール参照
09時00分～19時00分		車検及びマーキング、シーリング	スーパーピット中央店
9月30日	金曜日		
06時00分～22時00分		ラリーHQ 開設時間	ラリーHQ
06時00分～22時00分		メディアセンター開設時間	メディアセンター
06時00分～12時00分		レッキ	レッキスケジュール参照

09時00分～13時00分	車検及びマーキング、シーリング	スーパーピット中央店
12時00分～13時00分	シェイクダウン	OBIHIRO SSS
14時00分	第1回大会審査委員会	審査委員会室
15時00分	Leg 1 スタートリストの公示	公式掲示板
15時00分	プレメディアコンファレンス	メディアセンター
16時30分	ラリーショー	北愛国サービスパーク
18時00分	セレモニアルスタート	北愛国サービスパーク
18時47分	Leg 1A スタート	北愛国サービスパーク

10月1日	土曜日	
-------	-----	--

05時30分～22時30分	ラリーHQ 開設時間	ラリーHQ
05時30分～23時00分	メディアセンター開設時間	メディアセンター
06時00分	Leg 1B スタート	北愛国サービスパーク
22時00分	Leg 2 スタートリストの公示	公式掲示板

10月2日	日曜日	
-------	-----	--

04時30分～21時00分	ラリーHQ 開設時間	ラリーHQ
05時00分～22時00分	メディアセンター開設時間	メディアセンター
05時00分	Leg 2 スタート	北愛国サービスパーク
17時00分	ラリーフィニッシュ及び表彰式	北愛国サービスパーク
17時40分	再車検	スーパーピット中央店
18時00分	ファイナルメディアコンファレンス	メディアセンター
20時10分	暫定結果公示	公式掲示板

10月3日	月曜日	
-------	-----	--

09時00分～12時00分	ラリーHQ 開設時間	ラリーHQ
09時00分～12時00分	メディアセンター開設時間	メディアセンター
10時00分	リザルトブック発行	ラリーHQ
12時00分	ラリーHQ、メディアセンター開設	ラリーHQ



## 4. エントリー



### 4.1 FIA タイトル

- 2011 FIA Asia-Pacific Rally Championship for Drivers and Co-drivers
- 2011 FIA Asia-Pacific Rally Cup for Manufacturers
- 2011 FIA Asia Cup for Drivers and Co-drivers
- 2011 FIA Asia-Pacific Rally Cup for Drivers, Co-drivers and Manufacturers using GpN, 2WD, normally aspirated engine cars of maximum 2000cc.
- 2011 FIA Asia Pacific Rally Championship Teams trophy
- 2011 Asia Pacific Rally Championship Junior Cup for drivers and co-drivers

#### 4.1.1 JAF タイトル

2011 年 全日本ラリー選手権

### 4.2 エントリーパッケージ

品目	APRC&アジアカップ 登録選手	APRC&アジアカップ 一般参加者	全日本ラリー選手権 参加者
APRC 宿泊(金 - 土)	2	2	-
全日本宿泊(土)	-	-	1
ラリーガイド 1	ウェブサイトより ダウンロード可能	ウェブサイトより ダウンロード可能	ウェブサイトより ダウンロード可能
特別規則書	ウェブサイトより ダウンロード可能	ウェブサイトより ダウンロード可能	ウェブサイトより ダウンロード可能
ラリーガイド 2	ウェブサイトより ダウンロード可能	ウェブサイトより ダウンロード可能	ウェブサイトより ダウンロード可能
ロードブック	2	1	1
ルートマップ	2	1	1
公式プログラム	4	1	1
リザルト CD	1	1	1
競技者パス	2	2	2
サービスクルーパス	8	4	4
ゲストパス	4	-	-
サービス車両通行証	2	2	2
補助車両通行証	1	-	-
サービスパークスペース (北愛国サービスパーク)	15x10m	7.5x5m	7.5x5m

### 4.3 パス及び書類の追加注文

上記のパス及び書類の追加注文は、大会事務局にお問合せください。

## 5. サービスパーク及びリモートサービス

### 5.1 サービスパークについて

サービスパークはリモートサービスを含め2箇所です。メインサービスパークは北愛国交流広場、リモートサービスは陸別町の陸別サーキットに隣接したエリア設置されます。  
北愛国サービスパーク及び陸別リモートサービスとも会場の路面はグラベルです。

サービススペースの配置は、9月22日(木曜日)にラリー北海道公式ウェブサイト (<http://rally-hokkaido.com/jp/>)で公示いたします。

北愛国サービスパークの開設は9月26日(月)09時00分です。

#### 5.1.1 北愛国サービスパーク

北愛国サービスパークアクセス時間

9月26日	月曜日	09時00分～18時00分
9月27日	火曜日	08時00分～18時00分
9月28日	水曜日	09時00分～19時00分
9月29日	木曜日	07時00分～20時00分
9月30日	金曜日	06時00分～22時00分
10月1日	土曜日	05時30分～00時00分
10月2日	日曜日	04時30分～20時00分
10月3日	月曜日	09時00分～12時00分

北愛国サービスパークの警備は9月30日(金)～10月2日(日)18時00分まで行われます。

参加者は、北愛国サービスパークの指定エリア内に限り、Auxiliary Vehicles(補助車両)を駐車することができます。それ以外の車両は、サービスパークに隣接している特殊車両用駐車場に駐車しなければなりません。1参加者につき2枚のサービス車両プレートが支給されます。追加の補助車両用プレートは10,000円で注文することができます。

#### 5.1.2 陸別リモートサービス

陸別リモートサービスアクセス時間

10月1日	土曜日	08時00分～15時00分
-------	-----	---------------

参加者は、陸別リモートサービスの指定エリア内に駐車できない車両及びAuxiliary Vehicles(補助車両)、それ以外の車両についてサービスパークに隣接している専用駐車場に駐車しなければなりません。

## 5.2 サービスパーク内施設

### 一般施設

施設	北愛国サービスパーク	陸別リモートサービス
公衆トイレ	3	2
全体照明	1	-
一般警備	1	-
給水栓	1	1

## 5.3 サービスパークに関するガイドライン

- サービスパーク内にアクセスする際は、サービス及び補助車両通行証等の車両通行証を助手席側のフロントガラス上部に貼付しなければなりません。貼付けていない場合は入場できません。
- 通路に車両通行証を提示した車両であっても駐車、停車を禁止します。隣接する補助車両駐車場に駐車してください。
- スペクテーターエリアを除き、サービスパーク内全域ではクレデンシャルパスを身に付けてください。
- 車両通行についてはマップに支持されている方向に従ってください。サービスパーク内を車両で移動する際には、オフィシャル及びマーシャルの指示に従ってください。
- サービスパーク内において各チームエリアで発生するゴミは参加者の責任で持ち帰り等も含め処理してください。
- 全ての電源ケーブルおよび配電盤は既存の照明用のもので、サービスパークコーディネーターの許可がない限り、サービス員が使用する事はできません。
- サービスパークの規則に関しては、FIA 地域ラリー選手権競技規定、第 40 条及び 41 条、42 条、第 44 条をご参照ください。フレキシサービスの規則については FIA 地域ラリー選手権競技規定第 43 条及び V4 をご覧ください。

## 6. 無線

日本での無線の使用は、厳しく規制されています。無線装置の使用を希望する方は大会 3 ヶ月前までに大会事務局に申請する必要があり、本大会の受付は 6 月 30 日に締め切りました。

## 7. 燃料 / タイヤ

2011 ラリー北海道の特別規則書を参照。

## 8. 車両と部品の日本への持ち込みと運転に必要な手続き

### 8.1 日本の法律 / 通関手続き

日本国内での輸送にはかなりの費用がかかりますので、開催場所から最も近い苫小牧港まで海上輸送を利用することをおすすめします。海外からの持ち込み品については税関手続きが必要になります。苫小牧港からサービスパークまでのコンテナ輸送には、約3時間かかります。

通関手続きに必要な書類と注意点などは下記の通り；

#### (1) FIA カルネ

FIA カルネはラリーカー、レッキ車両、サービス車両などの海外で登録された車両が日本国内を走行する時に必ず必要になります。このカルネは当該車両登録国のASNから発行されます。なお、FIA カルネで通関をする際には、JAFが発行するカルネの証明書が必要になります。この証明書の取得については、オーガナイザーにお問合せ下さい。なお、カルネとこの証明書は、当該車両を使用中に警察などから提示を求められる場合があります。いつでも提示できるよう用意しておいて下さい。また、当該車両の登録国を問わず、公道を走る全ての車両は自賠責保険に加入してはなりません。

注意：ジュネーブ条約（ジュネーブで1949年に締結された「道路交通に関する条約」）国以外の国から車両を輸入する場合は、例えFIAカルネを取得していても、日本に到着した時点で車検、及び日本国内での登録が必要になります。この車検と登録には時間と費用がかかります。

#### (2) ATA カルネ

ATAカルネは機材、部品、タイヤ、及び販促アイテムを持ち込む時、必要になります。ATAカルネで輸入された全ての品目はラリー後再輸出される必要があります。禁制品は例え一時的であっても輸入することは出来ません。

#### 3) PRO FORMA INVOICE

PRO FORMA INVOICEの使用に関しては、オーガナイザーもしくは個々の輸送会社にお尋ね下さい。

高圧ガスシリンダーなどの危険物や医療品の輸入に必要な特別認可を受ける際に、上記の書類提出が求められます。これらの輸入に関しては、各自で手続きをする必要があります。

車両及びその他の機材を輸入する方は、下記にありますラリー北海道オフィシャルフォワードャーにお尋ね下さい。

株式会社栗林商会 苫小牧支社
053-0005 苫小牧市元中野町2丁目13-16
Tel : 0144-32-5161
Fax : 0144-36-6839
河野 純吾 : kouno@kurinet.co.jp
小林 克之 : kat-kobayashi@kurinet.co.jp

## 8.2 車両に係る規制 (運転免許証含む)

ラリー北海道に参加する車両は、道路運送車両法・道路交通法など日本の国内法規を遵守しなければならず、国際モータースポーツ競技規則付則 J 項あるいは JAF 国内競技車両規則 (ライトポット、排気音量、etc) に合致していなければなりません。

日本で登録されていない車両は、以下の (a) (b) の書類が必要であり、車両に搭載しておかなければなりません。(c) は競技車両用にお勧めします。

(a) JAF から発行され、オーガナイザーから配布されたカルネの証明書類 (翻訳されたもの)。この書類は車両の一時輸入を許可する効力があります。ラリーカーに関しては、エントリーフィーに含まれていますが、ラリーカー以外の車両に関しては、手数料がかかります。

(b) 自賠責保険の加入。ラリーカーに関しては、エントリーフィーに含まれています。ラリーカー以外の日本で登録されていない車両に関しては、約 6,000 円で加入することができます。

(c) ラリー保険。ラリーカーやレッキカーに対しこの保険をかけることをお勧めします。この保険には第三者賠償責任保険も含まれ、保険料はエンジンの大きさによりますが、約 20,000 円です。

当ガイド付則 D のエントリーブックレットに、車両の輸入に関するセクションがあります。上記の (b) と (c) の書類には、車両について詳細にご記入ください。

## 8.3 日本国内を運転する際の条件

海外から入国する者が日本国内で運転する為には日本の運転免許証、もしくは公道を運転するのに有効な国際免許証を所持しなくてはなりません。国際運転免許証は 1949 年に締結されたジュネーブ条約下で発効されたもののみが有効で、免許証の表紙にその事が明記されていなくてはなりません。詳細に関してはオーガナイザーにお問合せ下さい。

ドイツ、フランス、スイス、イタリア、ベルギー及び台湾で発行された免許証を所持している者は JAF による翻訳が必要になります。この翻訳した物と免許証を同時に携帯することで、ジュネーブ条約下で発行された国際運転免許証と同じ効力を持ちます。上記以外の免許証を所持している者は、実技試験を受けるかもしくは外免切替を求められます。

外免切替の詳細についてはこちらのウェブサイトをご覧ください。: <http://www.jaf.or.jp/e/switch.htm>

## 8.4 交通法規の違い

<日本語版では省略します>



## 9. ヘリコプター



### 9.1 登録申請手続き／インフォメーション

ラリーのサポート、取材、観戦等を目的としてヘリコプターを使用する場合は、オーガナイザーに登録しなければなりません（有料）。ラリーコースの上空は航空法により管理されています。また、このエリアにおける飛行は登録された航空機のみが許可されます。

ヘリコプター登録申込書は、ラリーガイド1に添付されています。記入後、9月9日（金）までに大会競技事務局に送付してください。

スペシャルステージ及びサービスパークの着陸地点およびGPSポイントの一覧表は後日お知らせします。

登録した航空機のパイロットは、パイロットブリーフィングに出席することが義務付けられています。

### 9.2 国内ヘリコプター会社の連絡先

朝日航洋株式会社	北海道航空株式会社
Tel:011-782-0603	Tel:011-782-1247
Fax:011-783-5286	Fax:011-780-2711
担当者: 小澤 氏 <a href="http://www.aeroasahi.co.jp">www.aeroasahi.co.jp</a>	担当者: 奥山 氏 <a href="http://www.hokkaido-koku.co.jp">www.hokkaido-koku.co.jp</a>

朝日航洋株式会社は、ラリー北海道とヘリコプター業務の提携を行っています。



## 10. ホスピタリティー



コーポレートホスピタリティーについては、下記の担当者にお問い合わせください。

担当: 高嶋 伸后  
Tel: 011-864-2003  
Fax: 011-864-1182  
Email: [takashima@planning-for.co.jp](mailto:takashima@planning-for.co.jp)

## 11. ホテル / 宿泊施設の予約について

### 11.1 予約に関するお問合せ

以下の 2 軒のホテルと適切な金額で宿泊できるよう交渉し、一括予約いたしました。宿泊予約をする際は、付則 D の申込書にご記入の上、ラリー事務局まで返送してください。

ドライバーおよびコ・ドライバーのホテル宿泊料金は、コンペティターのエントリーフィーに含まれています。それぞれの宿泊日数は、APRC 及びアジアカップ参加選手の場合は 2 泊（9 月 30 日〔金〕～10 月 1 日〔土〕）、JRC 参加選手の場合は 1 泊（10 月 1 日〔土〕）となっています。以下のホテルにて基本的にシングルルーム使用となります。ホテルの決定はオーガナイザーが行います。

宿泊予約申込書にご希望の部屋についてご記入ください。

帯広ワシントンホテル	
住所： 帯広市西 1 条南 12 丁目 8	シングル： 6,000 円
TEL： 0155-23-5111	ツイン（少数）： 12,000 円（1 部屋 2 名）
FAX： 0155-23-5112 <sup>L</sup> 言語： 日本語/英語	※ 朝食込（朝食を食べなくても料金は変わりません。）
駐車場： 500 円	
Web: <a href="http://www.obihiro-wh.com/">http://www.obihiro-wh.com/</a>	
JR 帯広駅から徒歩 2 分。市内中心部に位置し、利便性の高いホテルです。	

ホテルルートイン帯広	
住所： 帯広市西 3 条南 11 丁目	シングル： 6,300 円
TEL： 0155-28-7200	※朝食込(朝食を食べなくても料金は変わりません。)
言語： 日本語のみ	
駐車場： 500 円	
Web: <a href="http://www.route-inn.co.jp/frame/fobihiro.htm">http://www.route-inn.co.jp/frame/fobihiro.htm</a>	
帯広市内の比較的新しいビジネスホテルです。JR 帯広駅より徒歩数分。	

帯広市街および付近には多くのホテルがあります。インターネットで検索する場合には、「帯広」、「十勝川」と入力してみてください。また、帯広市内のホテルは、下記のウェブサイトもご参照ください。

<http://www.obihiro-yado.com/English/european.html>

ホテルとの連絡が困難な場合、あるいはオーガナイザーに宿泊予約の協力を希望する場合、大会事務局にお問合せください。



## 12. レッキ



### 12.1 レッキ受付

日時: 9月28日(水曜日) 13時00分~19時00分  
場所: ラリーHQ

レッキ受付は、参加確認と共に行われます。参加確認の日程・時間につきましては、チーム毎に時間を振り分けます。参加者は、ラリーガイド1付則Dのエントリーブックレットにご希望の時間をご記入ください。



### 12.2 レッキに関する規則及び指示

レッキ規則全般に関してはFIA 地域ラリー選手権競技規定、第20条及びラリー北海道特別規則書第9条をご参照ください。

レッキは付則A.2のスケジュールに従って行ってください。APRC、アジアカップ及び全日本ラリー選手権の参加者は、3グループに分かれます。車両番号1~15番までがグループA、その他のAPRC、アジアカップ参加者はグループB、そして全日本ラリー選手権参加者グループとなります。

レッキ受付はレッキ開始前に済ませてください。レッキの受付の際に、コンペティターにレッキサインカード及び車両識別カード(パス)をお渡しいたします。レッキの間、車両識別カード(パス)を左リアサイドのウィンドウに貼付ください。レッキサインカードはステージを2回走行するのに有効です。各ステージのスタート及びフィニッシュ時にオフィシャルのサインを受けてください。

各クルーは、各スペシャルステージを2回まで走行できます。競技ルートと同じ方向に走行してください。スペシャルステージが重複されているコースの走行回数は2回までといたします。

レッキの間、参加者は交通法規を厳守しなければなりません。常に、他の道路利用者の安全と権利を尊重してください。オフィシャルが、レッキ中の参加者の行為を目視、計測機器、写真、またはビデオ等によって監視することがあります。いかなる違反も審査委員会に報告され、スタート不可までの罰則を課す場合があります。

レッキ中に走行する道路では、道路標識に表示されている速度制限を遵守してください。スピード違反は審査委員会に報告され、ペナルティーの対象になります。

使用タイヤは、量産されたターマックタイヤとし、競技用タイヤの使用は禁止します。(APRC)

ガソリンスタンドおよびコンビニエンスストアの位置は、ルートマップ上にわかりやすく表記されています。ほとんどの店舗でクレジットカードをご使用いただけますが、日本では現金でのお買い物が一般的で望ましいとされています。

### 12.3 SS フィニッシュからスタートまでの使用推奨道路

使用推奨道路については、レッキ受付(参加確認)でレッキ指示書を渡します。

## 13. 公式車検 / シーリング及びマーキング

### 13.1 日時及び場所

日時: 9月29日(木曜日) 09時00分~19時00分  
9月30日(金曜日) 09時00分~13時00分  
場所: スーパーピット中央店  
住所: 帯広市西8条南9丁目10

参加者は、ラリーガイド1にありますエントリーブックレットに詳細に記入し、公式車両検査の時間を指定してください。指定がない場合は、オーガナイザーから時間を指定いたします。公式車両検査のスケジュールは、9月28日(水曜日)09時00分に公式掲示板にて公示いたします。



### 13.2 公式車両検査前の準備

参加者は、公示されたスケジュールに従って車検場の入り口に車両を止め、現場のオフィシャルの指示に従ってください。入り口付近が競技車両で混雑し、指定された時間に間に合わない場合は、チームメンバーが入り口付近にいるオフィシャルにその旨をお知らせください。ゼッケンナンバー、オーガナイザーの広告及びプレートを公式車両検査時まで貼付してください。貼付位置については、公式通知をご参照ください。

以下の書類/品目を公式車両検査時にご持参ください:

- 公式車両検査シート: 参加確認時に配布
- 大会参加時の車両登録証 (日本登録車両のみ)
- モータースポーツ車両登録台帳 (The vehicles motorsport logbook) (持っているならば)
- ロールケージホモロゲーションシート
- 全ての更新内容が含まれた FIA 競技車両ホモロゲーションフォーム
- ヘルメット、レーシングスーツ、アンダーウェア、ソックス、バラクラバ、レーシングシューズ、グローブ

参加者は、FIA 国際競技規則の付則 J 項、第 252 条(プロダクションカーの一般規則)と第 253 条(安全装置)及び FIA 国際競技規則 L 項第 3 章ならびに FIA 地域ラリー選手権規定第 21 条、22 条及び 23 条、ラリー北海道特別規則書第 11 条をよく理解しておいてください。

全日本ラリー選手権の参加者は、JAF 国内競技規則をご参照ください。

### 13.3 公式車両検査場へのルート

三洋興熱スーパーピット中央店の位置は、付則 B の帯広市周辺地図に表示されています。北愛国サービスパークの出口を左折し、更に左折し札内川を渡り、国道 236 号線との交差点(セブンイレブン/ホクレンスタンド角)を右折します。0.4km 先(ENEOS 角)を左折し道なりに 2.73km の交差点「西 5 南 19」(ポストフル)を左折。道なりに右カーブを 1.58km 進むと「西 8 南 9」の交差点の左手に Mobil 石油の看板が目立つスーパーピット中央店あります。



## 13.4 再車検

三洋興熱スーパーピット中央店（公式車両検査と同じ場所）で行います。再車検対象車両にはポディウム後のパルクフェルメ入口で告知します。オフィシャルの指示に従ってください。

## 14. シェイクダウン

北愛国サービスパークに隣接した OBIHIRO SS で行います。

APRC 選手権/アジアカップに登録しているドライバー及びオーガナイザーが指名したドライバーの参加が義務付けられています。詳細は以下の通りです。

場所	OBIHIRO SSS
日時	9月30日 金曜日 12時00分 - 13時00分
ステージの距離	1.20km
サービス	北愛国サービスパーク
サービスパークまでの距離	0.91km

## 15. セレモニースタート及びラリーショー

### 15.1 日時及び場所

日時: 09月30日 金曜日 16時30分～17時30分  
場所: 北愛国サービスパーク

### 15.2 プログラム、進行の手順と説明

セレモニースタートはラリーショーと併催されます。ラリーショーでは来場した観客に向けてドライバーとコ・ドライバーによるサイン会やアトラクションが催されます。ラリーショーの会場は、北愛国サービスパークで、終了後、同じ会場でセレモニースタートが行われます。ラリーショー及びセレモニースタートにおいては、ドライバーとコ・ドライバーは、ドライビングスーツを着用してください。

スタート周辺のレイアウトについては付則 D をご覧ください。

#### ラリーショー

観客向けのラリーショーを 16 時 30 分より 17 時 30 分まで行います。ラリーカーをポディウムとサービスエリアの間の道路(アスファルト)に移動して並べます。アッセンブリーエリア(サービスアウトのリグループ)からオフィシャルの指示で車両を移動させてください。ゼッケン 81 番以降の選手は 16 時 00 分より、ゼッケン 71 番からゼッケン 80 番の選手は 16 時 05 分より、ゼッケン 61 番からゼッケン 70 番の選手は 16 時 10 分より、ゼッケン 1 番からゼッケン 10 番の選手は 16 時 15 分より、ゼッケン 11 番からゼッケン 20 番の選手は 16 時 20 分より、ゼッケン 21 番からゼッケン 30 番の選手は 16 時 25 分より、移動してオフィシャルの指示で車両を並べます。観客は道路に入場でき、ラリーカーを間近で見ること



ができます。チームはプロモーション活動としてチームのスポンサーの看板やバナー等を掲げ、ラリーカー周辺を装飾し観客サービスを行うこともできます。ドライバー及びコ・ドライバーによるサイン会は、同所で行ってください。ラリーショー終了後、観客は道路から退出されます。

セレモニースタートのためにクルーは車両で待機してください。オフィシャルの指示でセレモニースタートに進みます。

### セレモニースタート

17時45分より開会式典が開始され、最初の車両は18時00分にポディウムをスタートします。スタート順は以下の通りです。



APRC 及びアジアカップ参加選手 リバースオーダー  
JRC 参加選手 ゼッケン順

ポディウムにて各チームは紹介プラカード(各自制作持参)を提示することができます。プラカードには、ゼッケンナンバー、ドライバー氏名、チームの国籍を必ず入れてください(スポンサー名及びロゴを入れても構いません)。また、プラカードを持って案内する係はチーム員(女性・男性問わず仮装も可)が行うことができます。

### ※注意事項

セレモニースタート後に **SS1 OBIHIRO** を行います。

先頭車両の時間	進行内容	場所
16時30分～	ラリーショー開始。観客は道路に入場することができる。ただし、警備員及びマーシャルがエリア内を巡回する。全ドライバー及びコ・ドライバーはサイン会参加を勧められる。トップ10のAPRCドライバー及びトップ5のJRCドライバー(ゼッケンナンバーによる)で、参加できない場合は、オーガナイザーに連絡すること。必要なテーブル、椅子、テントなどは各チームで用意すること。	ラリーショー会場
17時30分	ラリーショー終了。全ての観客はオフィシャルによって速やかに道路から退場させられる。観客は場内アナウンスでセレモニースタート会場に誘導される。	
17時45分	開会式典 クルーは、オフィシャルの指示でポディウム入口まで車両を移動させて待機する。	
18時00分	先頭車両がポディウムに上がりスタートする。セレモニースタートはオーガナイザーの指示した順番と30秒～1分間隔でスタートする。車両はオフィシャルの指示に従い観客の間を通り、サービスに戻る。	ポディウム
18時47分	TC 0 Service Exit	サービスパーク
18時57分	TC 1	帯広 SSS
19時00分	SS 1 OBIHIRO	帯広 SSS



## 16. フィニッシュ



### 16.1 日時及び場所

日時: 10月2日(日)17時00分～  
場所: 北愛国サービスパーク

フィニッシュの順番は以下の通りです:

#### APRC

APRC 登録選手トップ3

APRC 総合勝者トップ3

その他のAPRC参加車両は、フィニッシュリグループのチェックインタイムに準じて行う。

各クラスの賞典(参加台数による)の表彰を行う。

入賞者は正式結果発表後にトロフィー、副賞等をHQ事務局に各自取りに来てください。

#### JRC

各クラスの暫定表彰をポディウムで行う。

その他の全日本ラリー選手権参加車両は、フィニッシュリグループのチェックインタイムに準じて行う。入賞者は正式結果発表後にトロフィー、副賞等をHQ事務局に各自取りに来てください。

オフィシャルフィニッシュのレイアウトについては付則Dをご覧ください。



### 16.2 プログラム、進行の手順と説明

#### APRC

先頭車両の時間	進行内容	詳細
16時50分～	フィニッシュリグループ IN	ポディウムフィニッシュの為にリグループを行う。
17時00分	APRC 登録選手 第3位	APRC 登録の第3位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りて写真撮影用に(20s)手を振る。その後車両をオフィシャルの指示でポディウム左前方に停める。クルーはトロフィーの授与式まで待機。
17時02分	APRC 登録選手 第2位	APRC 登録の第2位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りて写真撮影用に(20s)手を振る。その後車両をオフィシャルの指示でポディウム右前方に停める。クルーはトロフィーの授与式まで待機。
17時04分	APRC 登録選手 優勝	APRC 登録の優勝の車両がポディウムに上がる。車両のフロントがランプ出口部分にかかった状態でエンジンを止めて停車する。クルーはボンネットに上がり月桂冠を受取る。手を振り写真撮影用を行う(30s)。写真撮影時にはチームメンバーも参加可能で終了後、速やかに降壇する。

	表彰台	写真撮影後、表彰台をポディアムの前に設置する。
17時08分	勝利者インタビュー プレゼンター	優勝者はポディアム上でインタビューを受ける。 プレゼンターは、オフィシャルの案内で待機場所へ移動する。
17時10分	上位入賞者3クルー	MCの呼び込みでクルーが表彰台に上がる。1位、2位、3位の順。ドライバーの左側にコ・ドライバーが立つ。
17時13分	国歌・国旗掲揚	優勝したドライバーの国歌(30s)を流す。同時に優勝、2位、3位に入賞したドライバーの国旗と優勝車両の国旗を掲揚する(30s)。
17時15分	トロフィー授与	プレゼンターはトロフィーを持ち、MCに合わせてクルーに手渡し、握手をする。3位、2位、1位の順。同時にシャンペンをクルーの足下に置く。プレゼンターは授与後、席に戻る。
17時17分	トロフィーを手に写真撮影	全クルーに渡った時点で、トロフィーを掲げ写真撮影を行う。
17時19分	シャンペンシャワー	写真撮影後にシャンペンシャワーを行う。終了後に表彰台を撤去しAPRC総合勝者授与式の準備をする。
17時23分	車両退場	優勝車両がポディアムから降り2位、3位の車両が続き観客の中をパルクフェルメまで移動する。
17時26分	APRC総合勝者のトロフィー授与式の開始	(APRC総合勝者上位3台が登録選手と同じ場合は省略する) MCがAPRC総合勝者の授与式をアナウンス
17時28分	APRC総合勝者のトロフィー授与式	APRC総合勝者上位3台が登録選手と違う場合は、上記の手順で行う。一組でも同じクルーがいる場合は次の手順で行う。2位及び3位のクルーは、ポディアム上で車両から降りトロフィーを受け取り、写真撮影を行う。終了後に車両をパルクフェルメまで移動する。 APRC総合優勝クルーは、月桂樹、トロフィーをポディアム上で受け取り、写真撮影を行う。終了後に車両をパルクフェルメまで移動する。
17時35分	他のAPRC参加者のポディアムフィニッシュ	Leg2を完走したその他のAPRC参加者は、フィニッシュリグループのチェックインタイムの順に30秒間隔でポディアムに上がる。写真撮影用に一時停車する。クルーは降車しない。各クラスの入賞者にトロフィーと副賞が競技事務局(HQ)で渡される。

### 全日本ラリー選手権の暫定表彰式

先頭車両の時間	進行内容	詳細
	フィニッシュリグループ IN	ポディアムフィニッシュの為にリグループを行う。表彰対象者が3位まで満たない場合は、ポディアム上で表彰式を行います。
17時45分	全日本ラリー選手権	MCが全日本ラリー選手権の暫定表彰をアナウンス
17時47分	JN4クラス	JN4クラスの第6位の車両をポディアム上で止める。クルーは車両から降りてトロフィーを受け取る。写真撮影用に(20s)手を振る。終了後に車両をパルクフェルメまで移動する。

17 時 49 分		JN4 クラスの第 5 位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りてトロフィーを受け取る。写真撮影用に(20s)手を振る。終了後に車両をパルクフェルメまで移動する。
17 時 51 分		JN4 クラスの第 4 位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りてトロフィーを受け取る。写真撮影用に(20s)手を振る。終了後に車両をパルクフェルメまで移動する。
17 時 53 分		JN4 クラスの第 3 位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りて写真撮影用に(20s)手を振る。車両をオフィシャルの指示でポディウム左前方に停める。クルーはその場で待機する。
17 時 55 分		JN4 クラスの第 2 位の車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りて写真撮影用に(20s)手を振る。車両をオフィシャルの指示でポディウム右前方に停める。クルーはその場で待機する。
17 時 57 分		JN4 クラスの優勝、(総合優勝)車両をポディウム上で止める。クルーは車両から降りて(MC から総合優勝案内)写真撮影用に(20s)手を振る。車両をオフィシャルの指示でポディウム前方に停める。
17 時 59 分	トロフィー授与	クルーは各自の車両の前に立ち、各プレゼンターからトロフィーを受け取る。プレゼンターは、MC に合わせてクルーにトロフィーを手渡し、握手をする。3 位、2 位、1 位の順。クルーはトロフィーを持ち写真撮影用に(20s)手を振る。終了後に 1 位、2 位、3 位の順で車両をパルクフェルメまで移動する。
18 時 05 分	JN3 クラス(変更あり)	表彰対象者が 3 位まで満たない場合は、ポディウムの上で表彰式を行います。 同上の手順(不成立の場合は省略)
18 時 25 分	JN2 クラス(変更あり)	表彰対象者が 3 位まで満たない場合は、ポディウムの上で表彰式を行います。 同上の手順(不成立の場合は省略)
18 時 45 分	JN1 クラス(変更あり)	表彰対象者が 3 位まで満たない場合は、ポディウムの上で表彰式を行います。 同上の手順(不成立の場合は省略)
19 時 05 分	他の全日本ラリー選手権のポディウムフィニッシュ	Day2 を完走したその他の参加車両はフィニッシュリグループのチェックインタイムの順に 30 秒間隔でポディウムフィニッシュに上がる。写真撮影用に一時停車する。降車はしない。終了後に車両をパルクフェルメまで移動する。
19 時 12 分	セレモニー終了	セレモニーフィニッシュの終了予定時間

## 17. PR イベント及び入場制限

### メディアコンファレンス

日時: 9月30日 金曜日 15時00分～  
場所: メディアセンター  
内容: APRCのトップクルーの記者会見及び全日本ラリー選手権トップクルーの記者会見  
入場制限: 登録メディアのみ

### ラリーショー (サイン会及びラリーカー展示)

日時: 9月30日 金曜日 16時30分～17時30分  
場所: 北愛国サービスパークラリーショー会場  
内容: メイン道路で競技車の展示とクルーのサイン会を開催  
入場制限: 入場制限無し。ラリーショー会場は17時30分まで開放

### 開会式及びセレモニアルスタート

日時: 9月30日 金曜日開会式: 17時45分 / セレモニアルスタート: 18時00分～  
場所: 北愛国サービスパーク  
内容: ポディウムプレゼンテーション  
入場制限: 観客はポディウム周辺の観客エリア、通路から観戦できる。

### セレモニアルフィニッシュ

日時: 10月2日 日曜日 17時00分～  
場所: 北愛国サービスパーク  
内容: ポディウムフィニッシュ: 表彰式  
入場制限: 観客はポディウム周辺の観客エリア、通路から観戦できる。

### ファイナルメディアコンファレンス

日時: 10月2日 日曜日 18時00分～  
場所: メディアセンター  
内容: APRCの上位3クルーの記者会見  
入場制限: 登録メディアのみ



## 18. メディア



### 18.1 大会前の連絡先

各メディアオフィサーに申請方法やメディア設備についてお問合せください。

メディアオフィサー:	天野 克彦
国内メディアオフィサー:	加藤 和由
住所:	RALLY HOKKAIDO 大会事務局 メディア 〒003-0022 北海道札幌市白石区南郷通 19 丁目南 4-9 邦明ビル
TEL:	011-864-1101
FAX:	011-864-1182
Eメール:	media@rally-hokkaido.com
Web:	www.rally-hokkaido.com

### 18.2 メディア登録の手順と締切り

ラリー北海道で取材を行なう各媒体は、メディア登録が必要となります。メディア登録には、メディア取材申請書と添付する各書類が必要です。  
メディア取材申請書と添付する各書類の説明は、ラリー北海道公式ウェブサイト [www.rally-hokkaido.com](http://www.rally-hokkaido.com) のメディアに掲載されています。書類に不備がないかをご確認の上、メディア取材申請書と全ての添付書類を締切り 9 月 15 日木曜日 18 時 00 分（必着）までに、上記の宛先に送付してください。質問がありましたら、加藤までお問合せ下さい。

締切り：9月15日 木曜日 18時00分 必着

### 18.3 大会中の連絡先

RALLY HOKKAIDO メディアセンター	
住所:	〒080-0856 北海道帯広市南町南 7 線 56 番地 7 明治北海道十勝オーバル管理棟内
TEL:	0155-67-6201
FAX:	0155-67-6202
Email:	media@rally-hokkaido.com

### 18.4 メディア受付

メディア受付は、RALLY HOKKAIDO メディアセンターの入口で行います。

開設日時

9月28日	水曜日	13時00分～19時00分
9月29日	木曜日	07時00分～19時00分
9月30日	金曜日	06時00分～22時00分

## 18.5 メディアセンター

### 開設日時

9月28日	水曜日	13時00分～19時00分
9月29日	木曜日	07時00分～19時00分
9月30日	金曜日	06時00分～22時00分
10月1日	土曜日	05時30分～23時00分
10月2日	日曜日	05時30分～22時00分
10月3日	月曜日	09時00分～12時00分

## 18.6 メディアコンファレンス

プレメディアコンファレンス	
日時:	9月30日 金曜日 APRC: 15時00分～ JRC: 15時30分～
場所:	メディアセンター
ファイナルメディアコンファレンス	
日時:	10月2日 日曜日 APRC: 18時00分～
場所:	メディアセンター

## 18.7 各メディア報道

以下は登録メディアのリストです。

メディア登録締切日前に発行されるため、完全な一覧表ではないのでご了承ください

モータースポーツ専門誌及び Car 雑誌		
WRC+	クロスロード	レーシングオン
プレイドライブ	アクティブビークル	Auto Car India (インド)
JAF Sport	ベストカー	Overdrive (インド)
ランエボマガジン		

新聞及び通信社		
日刊自動車新聞	広報 音更	Hindustan Times (インド)
十勝毎日新聞社(勝毎)	広報 足寄	The Hindu (インド)
北海道新聞	広報 士幌	India Express (インド)
広報 陸別		

TV 及びラジオ、ウェブ		
APRC TV	RALLY-X mobile	ASIAN SPORTS CHANNEL
FM Apple		

9月9日現在



## 19. クレデンシャル及び車両通行証



### 19.1 クレデンシャル



サービスパーク  
ラリーHQ  
(担当部署にアクセスは制限される)

横田 龍史  
Mr. Ryuji MAIKITA  
競技長  
Clerk of course

OFFICIAL



エリア  
サービスパーク  
ラリーHQ  
リザルト&インフォメーションエリア  
メディアコンファレンス  
メディアセンター  
メディアポイント(タバードと共に)

RALLY MAGAZINE  
Mr. Kazuyoshi KATO

MEDIA



観戦エリア(OBIHIRO SSSのみ)  
サービスパーク  
ラリーHQ  
リザルト&インフォメーションエリア  
メディアコンファレンス  
(メディアセンターに余裕があれば)

DRIVER  
Mr. Iwao KIMATA

DRIVER  
Mr. Iwao KIMATA

COMPETITOR

COMPETITOR

SERVICE



観戦エリア  
サービスパーク

9999

PREMIUM

PERSONAL

GUEST



警察専用

POLICE

## 19.2 車両通行証



観戦エリア駐車場  
サービスパーク駐車場  
ラリーHQ/メディアセンター駐車場  
(担当部署にアクセスは制限される)



観戦エリア駐車場  
サービスパーク駐車場  
ラリーHQ/メディアセンター駐車場



観戦エリア駐車場  
サービスパーク駐車場  
ラリーHQ/メディアセンター駐車場  
STAGE ACCESS(タバードと共に)



サービスパーク  
リモートサービスエリア  
補助車両駐車場



観戦エリア駐車場  
サービスパーク駐車場



観戦エリア駐車場  
サービスパーク駐車場

## 20. 医療及び安全サービス

### 20.1 緊急電話番号

ラリーHQ の開設時間中は HQ の代表電話番号にバイリンガルのオフィシャルを配置いたします。

緊急時の連絡先は以下の通りです：

火災および救急車:	119
警察:	110

厚生病院は帯広市中心部、市役所の向かい側に位置しております。同病院に対しては、プログラムに沿ってラリーの概要を説明してあります。また、英語を話すスタッフも勤務しています。北愛国サービスパークに最寄りの病院は北斗病院です。これらの病院の連絡先は下記の通りです：

医療機関名	電話番号	住所
帯広厚生病院	0155-24-4161	帯広市西 6 条南 8 丁目 1
北斗病院	0155-48-8000	帯広市稲田町基線 7 番地 5

以下は、ラリーのルートにある主要な医療機関の場所と連絡先です：

医療機関名	電話番号	住所
帯広厚生病院	<b>0155-24-4161</b>	帯広市西 6 条南 8 丁目 1
帯広協会病院	0155-22-6600	帯広市東 5 条南 9 丁目
帯広第一病院	0155-25-3121	帯広市西 4 条南 15 丁目
北斗病院	0155-48-8000	帯広市稲田町基線 7 番地 5
帯広徳洲会病院	0155-32-3030	音更町木野西通 14
北見赤十字病院	<b>0157-24-3115</b>	北見市北 6 条東 2 丁目
北見脳神経外科病院	0157-26-8800	北見市三輪 36 - 1
陸別町国民健康保険関寛斎診療所	0156-27-2135	陸別町陸別東 2 条 3 丁目
足寄町国民健康保険病院	01562-5-2155	足寄町南 2 条 3 丁目
本別町国民健康保健病院	01562-2-2025	中川郡本別町西美里別 6-8

救命救急センター設備がある病院は太字で表記

上記の医療機関はデイマップおよびルートマップに表記されています。

夜間、休日に開業している病院は北海道救急医療情報案内センターに照会してください。

北海道救急医療情報案内センター	
フリーダイヤル	<b>0120-20-8699</b>
携帯電話・PHS	011-221-8699
URL	http://www.qq.pref.hokkaido.jp/qq/qq01.asp (日本語) http://www.qq.pref.hokkaido.jp/qq/qq01fnlgsp.asp (英語)

薬局と歯科医院はセクション 21.8 のビジネスディレクトリーに掲載されています。  
レッカーサービス、トランスポーターはセクション 21.8 のビジネスディレクトリーに掲載されています。



## 21. 総合案内



### 21.1 概要

<b>空港:</b>	羽田空港からは日本航空がとちち帯広空港へ毎日4便運行しています。3月27日より北海道国際航空(AIR DO)が就航いたしました。1日3便の運航になります。空港から帯広市街への移動にはシャトルバス(1,000円)があり、所要時間は約40分です。また、タクシー・レンタカーも空港ですぐに手配できます。
<b>鉄道:</b>	帯広駅にJR北海道の特急列車が運行されています。所要時間は札幌駅から約2時間20分。新千歳空港から約2時間10分。
<b>現金:</b>	<日本語版では省略します>
<b>通貨:</b>	<日本語版では省略します>
<b>標高:</b>	サービスパーク : 40m リクベツリモートサービス : 217m スペシャルステージの平均 : 362m
<b>電気:</b>	<日本語版では省略します>
<b>大使館・領事館:</b>	<日本語版では省略します>
<b>国際電話:</b>	<日本語版では省略します>
<b>携帯電話:</b>	<日本語版では省略します>
<b>営業時間:</b>	<日本語版では省略します>
<b>人口:</b>	<日本語版では省略します>
<b>祝日:</b>	<日本語版では省略します>
<b>降水量(帯広):</b>	9月平均 : 139.8mm、10月平均 : 91.7mm
<b>日の出:</b>	(9月30日) 05時31分 (情報 : <a href="http://www.nao.ac.jp/">http://www.nao.ac.jp/</a> 国立天文台)
<b>日の入:</b>	(9月30日) 17時17分 (情報 : <a href="http://www.nao.ac.jp/">http://www.nao.ac.jp/</a> 国立天文台)
<b>税金:</b>	<日本語版では省略します>
<b>気温(帯広):</b>	9月 : 最高気温 : 21.2℃、最低気温 : 6.1℃、平均気温 : 16.0℃ 10月 : 最高気温 : 15.4℃、最低気温 : 4.3℃、平均気温 : 9.6℃
<b>時間帯:</b>	<日本語版では省略します>
<b>チップ:</b>	<日本語版では省略します>
<b>ビザ / 査証:</b>	<日本語版では省略します>
<b>水:</b>	通常の水道水は飲むことができます。ホテルの中にはリサイクル・ウォーターを使用しているところもありますが、その場合は明記されています。

## 21.2 車両レンタル-乗用車、トラック

ラリー北海道のオフィシャルレンタカー会社は、ニッポンレンタカーです。

以下のURLよりお申し込みの方は、ラリー北海道関係者限定特別優待料金での予約を行う事が出来ます。

<https://www.nrh.co.jp/loginform/>

ID:rally

PASS:rh2011

とち帯広空港店	0155-64-5065
帯広駅前店	0155-22-0919
千歳空港	0123-26-0919

## 21.3 航空会社

日本航空 (JAL) 国内線	東京	03-5460-0522	
日本航空 (JAL) 国際線	東京	03-5460-0511	
全日空 (ANA) 国内線	東京	03-6741-8800	
全日空 (ANA) 国際線	東京	03-6741-6685	
エールフランス航空	東京	03-3570-8577	
エア・インディア	東京	03-3508-0261	
ニュージーランド航空	東京	03-5521-2770	0120-300-747
アリタリア航空	成田	0476-32-7811	
アメリカン航空	東京	03-3298-7677	
ブリティッシュエアウエイズ	東京	03-3298-5238	
キャセイパシフィック航空	成田	0476-32-7650	
フィンランド航空	東京	03-3222-6801	0120-700-915
ルフトハンザドイツ航空	成田	03-4333-7656	0120-051-844
マレーシア航空	東京	03-5733-2111	
カンタス航空	東京	03-6833-0700	0120-207-020
スカンジナビア航空	東京	03-5400-2331	
シンガポール航空	東京	03-3213-3431	
タイ国際航空	東京	03-3503-3311	
ユナイテッド航空	東京	03-3817-4411	
ヴァージンアトランティック航空	東京	03-3499-8811	

サービスパークとHQが設置される帯広市への行き方は以下の通りです。

東京／成田空港から羽田空港へ：

成田国際空港から羽田空港までのエアポートリムジンバスが利用できます。運賃は3,000円です。羽田空港で日本航空へ乗り継ぐ場合は、第1ターミナルで降りてください。

東京／羽田空港からとち帯広空港へ：

羽田空港からは日本航空がとち帯広空港へ毎日4便運行しています。日本航空は第1ターミナルです。3月27日より北海道国際航空 (AIR DO) が就航いたしました。1日3便の運航になります。

札幌／新千歳空港から JR 帯広駅へ：

列車でお越しの方は、新千歳空港から約 3 分後の南千歳駅で特急に乗り換えて、帯広駅で下車してください。運賃（片道）は約 6,000 円です。

札幌／新千歳空港から車で帯広へ：

車でお越しの方は、高速道路の千歳 IC から帯広行きの表示に従ってください。高速道路は帯広まで全線開通していませんが便利です。北愛国サービスパークに最寄りの IC は帯広川西 IC です。

とち帯広空港から帯広市内へ：

到着便および出発便に合わせて、空港と帯広市内のホテルを結ぶシャトルバス（運賃：1,000 円）が運行しています。タクシーやレンタカーも空港で手配することができます。所要時間は約 40 分です。

帯広から HQ へ：

HQ が設置される十勝オーバル管理棟へは JR 帯広駅より車で約 10 分、とち帯広空港から車で約 40 分です。

## 21.4 コピーサービス

(株)ウィネット	0155-25-1211	(帯広駅0.56km)	西5条南9-2-16
(株)テクノネット	0155-26-4500	(帯広駅0.91km)	大通南4-20-1
(株)ノブ / 複写事業部	0155-26-6600	(帯広駅0.91km)	大通南4-20-1
(株)十勝マイクロ	0155-24-2171	(帯広駅1.11km)	東4条南13-19
(有)太陽コピーセンター	0155-23-1663	(帯広駅0.88km)	東1条南6-10
ワット	0155-22-0810	(帯広駅0.56km)	西5条南9-2-16
杉原事務処理センター	0155-25-1509	(帯広駅0.53km)	西5条南10-28
東京丸勝	0155-21-5864	(帯広駅1.06km)	西2条南2-19-2

帯広市街及び周辺には、ローソン、セブンイレブン、セイコーマートといったコンビニエンスストアが多くあります。ほとんどの店は 24 時間営業で、店内には銀行 ATM、コピー機が設置されています。

## 21.5 電話

携帯電話

日本の携帯電話のネットワークは独特のため、世界で一般的な GSM 方式の携帯電話は日本国内では使用できません。

一部ローミングサービスによって使用できる場合もありますが、ご自身の携帯電話の機種および契約会社について事前にご確認下さい。

### ■空港でのレンタル及びローミングサービス

#### NTT-DOCOMO

日本語サイト	<a href="http://roaming.nttdocomo.co.jp/jp/">http://roaming.nttdocomo.co.jp/jp/</a>
英語サイト	<a href="http://roaming.nttdocomo.co.jp/en/">http://roaming.nttdocomo.co.jp/en/</a>

#### SoftBank Global Rental

日本語サイト	<a href="http://www.softbank-rental.jp/inbound/">http://www.softbank-rental.jp/inbound/</a>
--------	---

英語サイト	<a href="http://www.softbank-rental.jp/en/">http://www.softbank-rental.jp/en/</a>
-------	---

JAL-ABC	
日本語サイト	<a href="http://www.jalabc.com/rental/domestic_jp/">http://www.jalabc.com/rental/domestic_jp/</a>
英語サイト	<a href="http://www.jalabc.com/rental/domestic_eng/">http://www.jalabc.com/rental/domestic_eng/</a>

## ■プリペイド式携帯電話

コンビニエンスストアにてプリペイド式携帯電話機とテレフォンカードを購入できます。しかしながら携帯電話不正利用防止法の制定により新規購入の手続きが厳しくなっています。日本の運転免許書などの提示が必要になります。

ご利用には事前に詳しくお調べください。

SoftBank: プリモバイル	
日本語サイト	<a href="http://mb.softbank.jp/mb/premobile/">http://mb.softbank.jp/mb/premobile/</a>
英語サイト	<a href="http://mb.softbank.jp/en/prepaid_service/">http://mb.softbank.jp/en/prepaid_service/</a>

帯広市での携帯電話機のレンタルについてオーガナイザーに問い合わせして下さい。

公衆電話 <日本語版では省略します>

インターネット接続 <日本語版では省略します>

## 21.6 警備会社

帝国セキュリティ(株)	帯広市西 2 条南 4 丁目 8-1 ぜんりん 24 ビル	TEL0155-22-5519
北海道中央警備保障(株)	帯広市西 6 条南 6 丁目 3 ソネビル 2F	TEL0155-23-3084
三和警備(有限)	帯広市西 5 条北 2 丁目 7-4 八重洲ビル 1F	TEL0155-22-0511
セコム(株)	帯広市西 6 条南 6 丁目 3 ソネビル 1F	TEL0155-26-1500

## 21.7 タクシー

大一ハイヤー	帯広市西 9 条南 10 丁目	0155-21-6151
日の丸交通	帯広市西 19 条南 1 丁目	0155-36-5111
まりもハイヤー	帯広市大通南 17 丁目	0155-23-8181
帯広ハイヤー	帯広市西 19 条南 1 丁目	0155-33-8844
中央タクシー	帯広市西 7 条南 4 丁目	0155-23-4141
東洋タクシー	帯広市西 18 条南 2 丁目	0155-33-3939
十勝観光ハイヤー	帯広市西 19 条南 1 丁目	0120-34-9595

## 21.8 ビジネスディレクトリー

歯科医院		
つがやす医院	帯広市西 10 条南 9 丁目	0155-21-2002
十勝歯科保険センター	帯広市東 7 条南 9 丁目	0155-25-2172 時間外緊急治療のみ

薬局		
ツルハドラッグ 帯広南店	帯広市西 5 条 18 丁目 3	0155-20-3533
ツルハドラッグ 稲田店	帯広市稲田町南 9 線西 9	0155-49-2066
ツルハドラッグ 札内店	幕別町札内共栄町 163	0155-20-3825

レッカー / トランスポーター			
ランドマーク 33	帯広市西 2 条南 33 丁目	0155-48-4616	0120-747-110
尾畑商会	帯広市西 20 条北 2 丁目	0155-33-3900	0120-494-988
前田自動車工業	本別町	01562-2-3002	
ボディショップ国井	足寄町	01562-5-4607	
松井商会	土幌町	01557-6-2153	

家電量販店 / コンピューター		
ヤマダ電機 帯広店	帯広市西 13 条北 1 丁目	0155-58-4080
100 満ポルト フレスポ本店	帯広市稲田町南 9	0155-48-3939
ハラデンキ 本店	帯広市大通南 12 丁目	0155-22-5522

Car 用品		
ホームックスーパーデポ	帯広市稲田町南 9 線西 9	0155-49-1101
イエローハット	帯広市西 5 条南 16 丁目	0155-26-1680
オートバックス	帯広市西 6 条北 1 丁目	0155-23-5500

フロントガラス		
十勝ガラス	帯広市西 4 条南 1 丁目	0155-22-6161
北硝子	帯広市西 6 条北 1 丁目	0155-24-3246

窒素・酸素ボンベ			
北海道エア・ウォーター	帯広市西 22 条南 1 丁目	0155-37-1181	帯広産業営業所

## 21.9 レストランガイド

店名	住所 & TEL	ジャンル	料金	定休日
かけ村	大通南 11-11 0155-27-6100	和居中酒屋	2	日曜日
海へ	西 1 条南 9 0155-20-2485	居酒屋	1-2	
かかし	西 2 条南 10 0155-25-5911	居酒屋	1-2	日曜日
はげ天	西 1 条南 10-5 0155-23-4478	天ぷら、寿司、豚丼	1-2	年中無休
辰巳寿し	西 1 条南 11 0155-24-6665	寿司	2	日曜日
鳥せい 中央店	西 1 条南 10-13 0120-73-2389	焼き鳥、鳥料理	1-2	第 1・2 日曜
ぶた丼ぱんちょう	西 1 条南 11-19 0155-22-1974	豚丼	2	月曜日
長寿庵	大通南 9-15 0155-22-5007	蕎麦	1	
みすず	西 2 条南 8-20 0155-23-4706	ラーメン	1	水曜日
あんじゅ	大通南 9-15 0155-26-5464	焼肉	1-2	
平和園 帯広店	大通南 12-1 0155-22-6151	焼肉	1-2	水曜日
北の屋台	西 1 条南 10	バラエティ(屋台村)	1	
テスタロッサ	大通南 10-19 0155-27-8866	イタリアン	1-2	日曜日

マンマピッツァ	西 1 条南 10	0155-23-4523	イタリアン	1-2	日曜日
アルデンテ	西 3 条南 17-8	0155-22-9850	イタリアン	1-2	日曜日
アルペスカ	西 1 条南 12	0155-28-5663	イタリアン	2-3	
ペペサーレ	大通南 10-1	0155-28-5360	イタリアン	1	年中無休
函館あかちようちん	西 1 条南 9-9	0155-22-2537	居酒屋	1-2	
十勝ビール	西 1 条南 9-6	0155-26-4141	ビール	2	年中無休
ランチョ・エルパソ	西 16 条南 6-13	0120-33-8683	ハム、ソーセージ	2	水曜日
スパイスガーデン	大通南 11-6	0155-26-5767	スリランカ料理	2	
赤唐辛子	西 1 条南 11_2F	0155-22-8707	ホット&ガーリック	2	日曜日
海へ 中央店	西 1 条南 9_2F	0155-20-2485	居酒屋	1-2	
美汕(びさん)	西 5 条南 19-7	0155-67-0900	居酒屋	1-2	

料金： 1 = メインディッシュ各皿につき 1,000 円以下； 2 = メインディッシュ各皿につき 1,000 ~ 3,000 円； 3 = メインディッシュ各皿につき 3,000 円以上

### バーおよびパブ

日本国内のどの市町村へ行ってもそうであるように、多数のカラオケやバーがあります。以下は、選りすぐりの西洋スタイルのバー／パブです。

店名	住所&TEL	説明
ロンドンパブ チェルシー 0155-27-0888	西 1 条南 10 丁目 ロイヤルプラザビル 1F	英国風パブ
Shot Bar Lovers ラヴァーズ 0155-26-8150	西 1 条南 11 丁目 ホテルパコ 13F	眺めが最高な最上階のバー。 店名でひかないように！
米風 0155-27-1291	大通南 12 丁目 1	カジュアルなバー
Galway 0155-20-5211	西 2 南 11 丁目	アイリッシュ風パブ。外国人に人気。 キャッシュオンデリバリー
カモン(歌夢音) 0155-25-4545	西 2 条南 10 丁目 16_2F	ライブハウス